

【様式 103】 別紙

第 13 回伊那谷 FM 放送番組審議委員会

【日時】 令和 8 年 9 月 16 日（水） 午前 11 時 30 分～12 時

【場所】 伊那市 伊那ケーブルテレビジョン株式会社 会議室

【出席者】 委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名 唐澤 稔 委員長

北原 章裕 委員

栗原 拓也 委員

小池 喜志子 委員

酒井 高太郎 委員

【放送事業者側出席者名】 伊那ケーブルテレビジョン 伊藤 秀男 常務取締役
平山 直子 取締役放送部長
稲田 久人 放送課長

【審議会次第】

1 常務あいさつ

2 唐澤委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 上伊那農業高校の生徒が JR 伊那北駅の未来を考える新番組（7 月から）
「北駅モーニングラジオ」について

実際に放送したものを聴いていただいてから審議

(2) 伊那谷 FM 全般について質問、要望など

(3) その他

閉会

伊藤常務

今日は、社長の向山が所用の為、欠席している。

このところ災害関係においては、日本各地で激甚的な災害が起きている。

伊那エリアでも手良地区で 8 月末、長野県では初めてのレベル 4 が発出された。

また伊那に県内初の線状降水帯予測というものが出され、自然災害において、我々を取

り巻く環境は年々変わってきている。

そんな中、コミュニティ FM の一つの大きな役割は災害情報の伝達だが、8 月末には伊那市と箕輪町の防災訓練と一緒に参加させてもらった。

9 月 6 日には、南箕輪村の訓練にもラジオで参加をさせていただき意識を高めている。

また一方で、本日お聴きいただく、高校生による「北駅モーニングラジオ」という番組を開始し、順調にスタートを切って動き出している。

この審議会を通じて、伊那谷 FM の運営に反映させていきたいと思っている。

唐澤委員長 挨拶

毎日雨ばかりで、想定外の災害が起きている。

地元のケーブルテレビも地域のために活躍されている。

今後も活躍を期待している。

【協議事項】

唐澤委員長

上伊那農業高校の生徒が JR 伊那北駅の未来を考える新番組、7 月からということで、「北駅モーニングラジオ」について、実際に放送したものを聴き、ご審議をいただく。

平山部長

番組の概要を説明させていただく。

土曜日、日曜日の午前 8 時からの 30 分番組になる。

この時間帯にイベントを開催することが多いということもあり、朝方の時間枠に放送している。

また、ご自宅でご家族などと聴いていただけたらと、月曜日の午後 4 時、それから土曜日の午後 6 時から再放送している。

この番組は 7 月から始まり、9 月 12 日に 3 回目を迎えた。

上伊那農業高校グローバルコースの生徒が中心となり、2 年生・3 年生の生徒がチームを作り、脚本、構成を作っている。

選曲も高校生が行っている。

毎回、伊那北駅周辺で地域活性化に取り組まれている方をゲストにお招きして、高校生が地域の取り組みについて質問をするコーナーがある。

それから「北駅ニュース」というコーナーでは、生徒たちの取り組みなどお知らせをしたりする、30 分の番組となっている。

当初、1 か月に 2 回の更新ということで進んでいたが、中々大変だということで、月 1

本ということで制作が進んでいる。

【北駅モーニングラジオを聴く】

唐澤委員長

今、高校生が結構、話題になっているような気もする。
高校再編ということで、聴いていただいた。
皆さんのご意見を聴きたい。

酒井委員

この番組は、生放送ではなくて収録したものか。

平山部長

収録したものになる。

酒井委員

高校生ということで原稿を読んでいるところもあるが、またそれが初々しくて良いのかなと感じた。
伊那市も高校再編に伴い、高校生が関わった街づくりを進めていて、こういった番組と連携できるのはありがたいし継続していただきたい。

北原委員

新番組ができたということで、年々FM放送の番組が充実してきて私も嬉しく思う。
内容についても生徒自身が作ったという感じが出ていて、いいなと思う。

栗原委員

高校生が自ら考え発信していて非常に素晴らしいと思う。
番組制作にはどれくらいの高校生が参加しているのか。

平山部長

上伊那農業高校グローバルコースの探究の授業の中で、これをプログラム化していると聞いている。
実際に喋る方は2人だが、それ以外にもBGMの選定は高校生が行っている。
企画全体を考えたり、得意な方は喋ったり、それ以外のことをする高校生もいるので、2年生、3年生全体で取り組まれていると伺っている。

それから収録時間については、基本的には生放送と同じで感覚で、その場でやり直したりせずに、30分の番組なら30分で収録ということで行っている。

栗原委員

学校全体で取り組んでいるのか。

平山部長

収録も伊那ケーブルテレビの FM スタジオに来ていただいているが、それも授業の時間内ということになっている。

栗原委員

伊那北駅は伊那北生も使っているが、その伊那北生も参加する予定はあるか。

平山部長

私どもとすれば是非にという思いがある。

上伊那農業高校とはこの企画が始まる時に、伊那北駅が新しくなっても、継続して地域活性化に高校生が加わっていけるような番組にしていきたいということで話をしている。

伊那北高校にも、参加いただけたらありがたいと思っている。

栗原委員

伊那北高校が普通科の伊那新校、上伊那農業高校が総合技術新校ということで、伊那北駅が今後より中心的な高校生の駅になる。

2つの高校で磨き合いができればより地域活性化ができると思う

平山部長

この番組については上伊那農業高校の持ち込み企画となっている。

高校生が集まりその中でちょっとしたお喋りがそのままラジオになるような番組が、将来的にできたらという考えはある。

小池委員

初歩的な質問だがなぜ「北駅」という名称にしたのか。

平山部長

高校生たちが通称で「北駅」と言っている。

「北駅」というネーミングについては、高校生提案のままだったので「伊那北駅」という

正しい名称の方が良かったのかもしれない。

小池委員

どこから出てきたのか不思議に思ったので。

例えば北殿駅も「北駅」なので素朴な疑問。高校生のアナウンサーは新鮮味があっていいがはっきり聞こえるように練習をしていただければと思う。

内容については、よく研究し地域の方も巻き込んでいて良いと感じた。

平山部長

アナウンスについては、生徒の皆さんに担当の割り振りを任せている。

基本的には交代制で、多くの生徒に経験を積んでもらえたらという認識でいる。

唐澤委員長

続いて伊那谷 FM 全般について、ご意見を聴きたい。

酒井委員

このところ雨の関係の災害が続いていて、普段から聞いていただけるような FM になれば、災害時も伊那谷 FM に合わせれば情報があるというような聴き方もできるのかなと思う。

伊那市としても FM を宣伝していけるように努めていきたい。

平山部長

先日も南箕輪村の防災訓練で住民の避難行動に伊那谷 FM を使っていただいた。

訓練をすることで、伊那谷 FM を知る機会にもなればいいということで、非常にありがたいご提案だったと思っている。

唐澤委員長

災害時はやはり地元がどうなっているのかをラジオやテレビで放送してもらうことを期待している。今後ともお願いしたい。

伊藤常務

どのくらい聴いてもらっているかという1つの指標で、アプリのダウンロード数があり月に200から300くらいずつ増加していて6,000くらいになる。

ご指摘のあった、普段から聴いていただける FM ということで徐々にではあるが近づいているという感触を持っている。

小池委員

伊那谷屋ワイド 867 のゲストの皆さんが、途切れないということはすごいと思っている。
肩書きのある人だけでなく、身近な人にも出ていただければ、なお良いと思う。

伊藤常務

9月3日にゲスト出演 500 人を超えた。

目標としてはエリア内の人たち全員に出てもらうくらいの考えでいる。

出ていただいた方それぞれの生き様、人生について、こちらも勉強させてもらいながらお話を伺っている。

唐澤委員長

ありがとうございました。

これで FM 番組審議委員会は終了させていただく。

【審議機関の答申又は意見の概要の公表】

公表の方法

- ・伊那エフエムが行う放送
- ・事務所への備置き
- ・自社ホームページ <https://fm867.jp/>への掲載

公表内容

- ・上記議事録内容

公表年月日

- ・2026 年 10 月 7 日